



鉄砲館だより

〒890-0001 種子島町センター
0233-33215

ぶんぶん文化財

Cultural property

【第3回】

横山盆踊

国選択文化財（平成三十年三月八日 指定）
県指定文化財（昭和四十三年三月二十九日 指定）

【概要】

上西の横山神社にて、毎年七月第二日曜日に行われる横山盆踊があります。「国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されている文化財です。「巾（ちよう）」と書かれた飾り付きの七夕竿の使用や、「カムキ」と呼ばれる神聖な面をかぶって踊ること等が特徴です。

盆踊は、昔は種子島各地にありましたが、現在では横山神社と南種子町西之本国寺でのみ伝承されています。鹿児島県内に似た踊りはなく、種子島でしか見ることができない貴重な盆踊です。

【由来】

江戸時代、島津家の家老であった比志島国隆が種子島に住むことになりました。それを追って千代女（阿久根出身）も来島し、横山で共に暮らしていました。

ある時、国隆はお上に目を付けられ、切腹を命じられました。この時、夫を想う千代女も殉死しました。人々は二人の死を悼み、特に千代女の心情を忍び、七月に霊を祀るための踊りを奉納するようになりました。これが横山盆踊となっており、現在まで大切に伝え続けられています。

【お知らせ】

今年度は、七月十二日に行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防のため残念ながら中止になりました。



（文責 文化財係 吉元伸一）